



川崎市債投資セミナー開催

～ 全国初、市長による市民向けIRセミナー～

- ❑ 川崎市では、平成16年11月4日(木)に川崎市中原区の「エポックなかはら」におきまして、市民の皆様を対象に「川崎市債投資セミナー」を開催しました。(参加者117名)
- ❑ セミナーでは、阿部市長より「誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき」をめざした「新総合計画基本構想素案」を軸に市の将来展望と、12月に発行する予定のミニ公募債「川崎市民健康の森債」について説明しました。また、榊沢財政局長からは市の財政状況と行財政改革への取り組みを分かりやすく説明しました。第二部では、市民金融講座として「はじめて知る債券」の講演も行いました。
- ❑ このように市長が直接、市民にIR活動を行うのは全国でも初めての取り組みです。
- ❑ 市では、市場公募債の発行に際して、このようなIR説明会を通じ、投資家や市民の皆様への情報開示と対話(双方向コミュニケーション)を重視し、行政経営の透明性を高めていく方針です。
- ❑ 説明資料は後日、市のホームページのIRサイトに掲載します。http://www.city.kawasaki.jp/

< 式次第 >

日時：平成16年11月4日(木) 14:20～15:50
 場所：エポックなかはら 7階大会議室
 司会：島岡美延氏 「かわさきFM」パーソナリティー
 第一部 「川崎市の将来展望と市債について」
 説明：阿部孝夫 川崎市長、榊沢孝夫 財政局長
 第二部 市民金融講座「はじめて知る債券」
 講演：木村敬二氏(NPO法人金融知力普及協会)



< エポックなかはら >



< 阿部市長 >



< 阿部市長によるIR説明会 >

1-5. 市の予算を家計簿化すると

イメージしやすいように、市の予算を家計簿として置き換えてみると・・・

年収500万円(月収41万6,700円)と仮定します

収 入		支 出	
14年度予算(一般会計)	1ヶ月の家計に例えると	16年度予算(一般会計)	1ヶ月の家計に例えると
市民生活の充実	給料・パート収入 416,700円	人件費 1,173 万円 給付金 831 万円 公費費 646 万円	食費、服装費、ローンの返済などの家計費 307,300円
市民生活の充実	人財育成基金等の基金 132,800円	市民生活の充実 880 万円	食費、服装費、ローンの返済などの家計費 103,700円
市民生活の充実	各種ローンの借入金 78,800円	市民生活の充実 1,248 万円 各種ローンの借入金 656 万円	子育てに関する費用 160,100円 各種ローンの借入金 87,000円
収入計	5,210 万円 収入計 828,100円	支出計	5,210 万円 支出計 828,100円

借金はどうなっているかというと・・・ (年収500万円の家計に換算してみると)

一般会計の15年度末市債残高 = 8,808億円 → 1,274万円のローン残高

< 説明資料から >